

技能実習生
47都道府県プロフィール(Ⅱ)

静岡県

「静岡型」日本語教室、県内で拡大 外国人との対話重視

2022年08月22日

- 外国人と日本人との対話を重視する「静岡型」日本語教室が県内各地に広がっている。磐田市は2022年度、独自予算で企業と連携した教室を始めた。文化庁や県の補助金を活用した教室はこれまでの県西部だけでなく、東部の富士市と中部の焼津市も取り組む。新型コロナウイルス禍で制限された技能実習生の入国が3月に緩和されたことも受け、外国人の地域での共生を後押しする。
- 「静岡型」日本語教室
講師が受講生に一方的に教える形式ではなく、**外国人が日本人サポーターの助けを得ながら、自分のことを互いに日本語で伝え合うことで習得することを目指す。****愛知県**が作成した教材に静岡独自の要素を加えて発展させ、地域住民も巻き込みながら全県的に普及を進めていることが特徴だ。県内では一般社団法人の**磐田国際交流協会**（磐田市）が最初に取り入れた。

静岡県対話交流型初期日本語教材 「はじめまして！日本語」

2022年07月06日

愛知県『地域における初期日本語教育モデル事業「はじめての日本語教室」』及び『指導者のための教材活用マニュアル』を基に、対話交流型の教室活動を作るための日本語学習教材『はじめまして！日本語』と『はじめまして！日本語 指導者用マニュアル』を作成した。

<http://www.sir.or.jp/multiculture/japanese/text/detail/id=3745>

